



HUMAN RIGHTS

人権・同和教育だより
第 1 号
平成 29 年 6 月 9 日発行

*

「HUMAN RIGHTS」（ヒューマンライツ）とは「人権」という意味です。

1 平成 29 年度の人権委員です。～よろしくお願ひします～

	1 組	2 組	3 組	4 組
1 年	西原 一樹 川原 里桜	越智 亮太 山路 美羽	徳永 七留 奈良 紅緒	富永 優羽 松本 夏歩
2 年	久保 貴史 石田 花凧	今村 俊太 若本 紀穂	伊藤 駿希 白石 未来	越智美咲紀 谷尾 百花
3 年	余吾 颯麻 野村 志帆	梶谷 勇太 山本 桃果	松本 一輝 難波江 彩花	土田 早織 村上 遥

なお、委員長は 余吾 颯麻君、副委員長は 難波江 彩花さんです。

2 本年度の人権・同和教育に係わる主な行事です。

時 期	内 容
6 月 7 日	第 1 回人権・同和教育ホームルーム活動
6 月 23 日	人権紙芝居（1 年）
7 月 中旬	人権標語・ポスター、人権作文募集
8 月 中旬	フィールドワークの実施（人権委員）
11 月 24 日	第 2 回人権・同和教育ホームルーム活動
11 月 26 日	西条市差別をなくする市民の集い（丹原会場）
12 月 3 日	人権・同和教育講演会
12 月 上旬	人権委員会発表
1 月 19 日	第 3 回人権・同和教育ホームルーム活動（3 年）
1 月 下旬	人権・同和教育アンケート（3 年）
2 月 16 日	第 3 回人権・同和教育ホームルーム活動

3 ホームルーム活動の予定

	1学期	2学期	3学期
1年	よりよい人間関係をつくろう 人権紙芝居	自分のまわりに目を向けよう 人権・同和教育講演会	人権・同和教育はなぜ必要か
2年	人権の歴史Ⅰ 差別はどのようにして作られたか	人権の歴史Ⅱ 水平の旗ひるがえる 人権・同和教育講演会	人権の歴史Ⅲ 平等な社会を目指して
3年	確かな進路保障のために ～就職差別を中心に～	幸福な結婚のために 人権・同和教育講演会	差別をなくすための私たちの取組

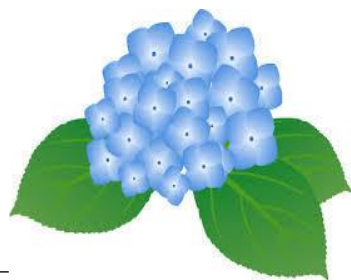
4 各種のお願い

① 人権委員会の活動について

第1教棟と第2教棟の渡り廊下の東側に人権委員会の掲示箇所があります。このヒューマンライツのほかに、愛媛県や西条市や国などから送られてくるポスターや文書などを掲示しているコーナーがあります。また校内各所に本校の生徒が作成してくれた人権標語やポスターを掲示していますので、ご覧ください。特に標語については、1学期末に生徒の皆さん全員につくっていただくことになっていきますので参考にしてください。

② ホームルーム活動について

上の表のような内容と日程で人権・同和教育のホームルーム活動を実施します。クラスにより担任の先生の都合で前後に動くこともあります。中学校の時より時間は減りますので、1時間1時間の取組を大切にしてください。



人権委員会のコーナーの写真です。

芳之内 亮 校長先生にインタビュー

by 3-1 人権委員

Q1 なぜ、地理・歴史科の先生になりたかったのですか。

高校時代の「世界史」や「日本史」の授業にとっても興味を持ち、それを仕事に生かすには、高校の教員が最適だと考えました。



Q2 さまざまな人権問題の中で、先生が一番関心のあるものは何ですか。

今はLGBTです。LGBTとは「女性同性愛者（レズビアン、Lesbian）、男性同性愛者（ゲイ、Gay、両性愛者（バイセクシュアル、Bisexual）、トランスジェンダー、Transgender）の各語の頭文字をとった表現です。「LGBTという言葉は性の多様性と性のアイデンティティからなる文化を強調するものであり、性的少数者と同一視されることも多いが、LGBTのほうがより限定的かつ肯定的な概念である」（ウィキペディアより）人間が生物である以上、それぞれであり、多様性を尊重しあうべきだと思います。

Q3 「いじめ」についてどう思われますか。

今、最も社会で注目されている人権問題です。人が嫌がることをしない、見てみぬふりをしないことが大切だと思います。

Q4 人権に関するおすすめの本や映画、歌などがありましたら教えてください。

○ 映画

- ・「リンカーン」（2012年、アメリカ）
 - ・「グローリー」（1989年、アメリカ）
 - ・「カラーパープル」（1985年、アメリカ）
 - ・「招かざる客」（1967年、アメリカ）
 - ・「マルコムX」（1992年、アメリカ）
 - ・「ミシシッピー、バーニング」（1988年、アメリカ）
- これらは、いずれも黒人問題、人種差別を扱った映画です。

○ 歌

「アメージング・グレース」

ドラマの挿入歌やテーマソングとしてもよく使われています

歌詞～1番ですが～

アメージング・グレース
何と美しい響きであろうか
私のような者までも救ってくださる
道を踏み外しさまよっていた私を
神は救い上げてくださり
今まで見えなかった神の恵みを
今は見出すことができる



作詞者はジョン＝ニュートン（John Newton、1725～1807）、ジョン・ニュートンは1725年イギリスに生まれた。母親は幼いニュートンに聖書を読んで聞かせるなど敬虔なクリスチャンだったが、ニュートンが7歳の時に亡くなった。成長したニュートンは、商船指揮官であった父に付いて船乗りになったが、さまざまな船を乗り歩くうちに黒人奴隷を輸送するいわゆる「奴隷貿易」に携わり、富を得るようになった。

当時奴隷として拉致された黒人への扱いは家畜以下であり、輸送に用いられる船内の衛生環境は劣悪であった。このため、多くのものが輸送先に到着する前に感染症や脱水症状、栄養失調などの原因で死亡したといわれる。ニュートンもこのような扱いを拉致してきた黒人に対して当然のように行っていたが、1748年5月10日、彼が22歳の時に転機は訪れた。イングランドへ蜜蝋を輸送中、船が嵐に遭い浸水、転覆の危機に陥ったのである。今にも海に飲み込まれそうな船の中で、彼は必死に神に祈った。敬虔なクリスチャンの母を持ちながら、彼が心の底から神に祈ったのはこの時が初めてだったという。すると流出していた貨物が船倉の穴を塞いで浸水が弱まり、船は運よく難を逃れたのである。ニュートンはこの日を精神的転機として、それ以降、酒や賭け事、不謹慎な行いを控え、聖書や宗教的書物を読むようになった。また、彼は奴隷に対しそれまでになかった同情を感じるようにもなったが、その後の6年間も依然として奴隷貿易に従事し続けた。のちに真の改悛を迎えるには多くの時間と出来事が必要だったと彼は語っている。

1755年、ニュートンは病気を理由に船を降り、勉学と多額の献金を重ねて牧師となった。そして1772年「アメージング・グレイス」が作詞された。歌詞中では、黒人奴隷貿易に関わったことに対する悔恨と、それにも拘わらず赦しを与えた神の愛に対する感謝が歌われている。（ウィキペディアより）

～調べてみました～

2006年のイギリスの映画「アメージング・グレイス」、19世紀はじめにイギリスで奴隷貿易が議会上で廃止になるまでの、ある議員の活躍を描いた作品ですが、この中で、晩年のジョン＝ニュートンも出ています。

Q5 人権教育に関わる中で、特に印象に残っている出来事がありましたら教えてください。

特にこれといったことはありませんが、最近いじめを苦に自殺をしているという記事を読むと、心が痛みます。

Q6 小松高校生に対してメッセージをお願いします。

道前平野の美しい自然の中で育った小松高生、きっと優しい心の持ち主が多いのではないかと思います。人の気持ちが分かる、優しい人間に成長して欲しいです。

Q7 先生が今一番はまっていることは何ですか。

特にはありませんが、ジョギングとゴルフです。週2回は走りたいのですが、まだ、小松に来てから5回しか走れていません。

～～～インタビューを終えて～～～

出張などで不在のことが多い校長先生、県総体などで大変お忙しい中、丁寧に回答をいただきありがとうございました。

人権・同和教育だより

第 1 号

平成29年6月9日